環境技術実証（ETV）事業のご案内

Environmental Technology Verification

環境省

優れた環境技術を普及させるためのお手伝いをいたします。

既に実用化された先進的環境技術の中には、環境保全効果等について客観的立場から示された情報がないために普及が進んでいないものがあります。
環境技術実証（ETV）事業は、そのような環境技術について、開発者でも利用者でもない信頼できる第三者機関（実証機関）が実際の現場等で実証し、その結果を環境省ウェブサイト等で公表、閲覧可能とすることで、環境技術の普及を支援し、環境保全に資することを目的とした事業です。

「実証」とは?

「実証」とは、環境技術の開発者でも利用者でもない**第三者機関**が、環境技術の環境保全効果、副次的な環境影響、その他を試験等に基づき**客観的なデータとして示すこと**をいいます。
一定の判断基準を設けて、この基準に対する適合性を判断する**「認証」とは異なる**ものです。

事業の実施体制は?

環境省
- 事業全体の方針策定及び運営管理
- 技術分野及び実証運営機関の選定
- 実証試験結果報告書等の承認
- ロゴマーク及び実証番号の交付
- Webによる実証試験結果の公表　等

実証機関（分野毎に原則1機関）
- 実証試験要領案の作成
- 実証対象技術の公募・選定
- 実証試験の実施
- 実証試験結果報告書の作成　等

連携協力

実証運営機関（マネジメント機関）
- 事業の普及のための企画・立案・広報
- 技術分野の設定のための調査・検討
- 実証機関の公募・選定　等

技術実証検討会
- 技術の実証について、専門的知見に基づく検討・助言　等

環境技術実証事業運営委員会
- 事業の運営に関して、専門的知見に基づく検討・助言　等

実証申請者（開発者、販売店等）
- 実証技術の申請
- 実証手数料の納付（手数料徴収体制の分野に限る）

「実証」のメリット

- 実証の過程で有識者による検討・審議をします。技術に関する専門的なアドバイスを受けられることもあります。
- 実証済み技術には実証番号が付されたロゴマークを交付します。

環境技術
実証事業
ETV 環境省

地球温暖化対策技術分野
中小水力発電技術
実証番号　No.120-1400
第三者機関が実証した性能を
web上で公開しています
http://www.env.go.jp/policy/etv

ロゴマーク・実証番号は
技術のPRなどに利用可能!

実証内容を
環境省ホームページに掲載!

ロゴマーク一例

- 実証済み技術の報告書は環境省ウェブサイトに公表され、エンドユーザー等が実証番号を手掛かりに閲覧できるようになります。

国負担体制※における対象技術分野（平成28年度）

環境技術実証事業 ETV 環境省
テーマ自由枠
実証番号 000 - 0000
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H 2X
www.env.go.jp/policy/etv

テーマ自由枠

特定の対象技術分野を定めない、下記技術分野以外の実証対象技術。
※原則。

手数料徴収体制における対象技術分野（平成28年度）

環境技術実証事業 ETV 環境省
本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています。
http://www.env.go.jp/policy/etv/
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成2X年度 実証試験 （No.030-0000）

自然地域トイレし尿処理技術分野

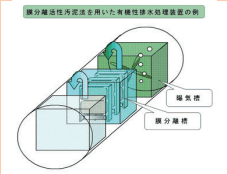
山岳地や山麓、海岸、離島などの自然地域で上下水道、電気（商用電源）、道路等のインフラが不十分な地域、または自然環境の保全に配慮しなければならない地域において、し尿を適切に処理するための技術分野。

対象となる技術の例 非放流式で、し尿を生物処理、化学処理、物理処理、もしくはその組合せにより適切に処理するし尿処理技術（装置）など。

環境技術実証事業 ETV 環境省
有機性排水処理技術分野
実証番号 020 - 0000
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H 2X
www.env.go.jp/policy/etv

有機性排水処理技術分野

厨房・食堂、食品工場等から排出される有機性排水を適正に処理・回収するための技術分野。



対象となる技術の例 厨房からの有機性排水を、生物学的処理、物理化学的処理または、その組み合わせにより適正に処理する技術（装置・プラント）など。

環境技術実証事業 ETV 環境省
閉鎖性海域における水環境改善技術分野
実証番号 090-0000
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H2X
www.env.go.jp/policy/etv

閉鎖性海域における水環境改善技術分野

閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化、または生物生息環境の改善に資する技術分野。ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、大規模土木工事等を要するものは除く。

対象となる技術の例 海草の増殖用ネット等を活用した生物生息環境の改善技術、エアレーションや海底耕耘等による水質改善技術、リサイクル材を用いた海域環境の改善技術など。

環境技術実証事業 ETV 環境省
http://www.env.go.jp/policy/etv/
日本の水をきれいに
湖沼等水質浄化分野
（実証番号０８０－００００）

湖沼等水質浄化技術分野

流入汚濁負荷の削減だけでは水質改善が難しい湖沼等において、水中、底泥中の汚濁を直接浄化、または、汚濁負荷の内部生産を抑制するための技術分野。

対象となる技術の例 ろ過・吸着・沈殿等及び植物プランクトンの異常増殖の抑制による湖沼等の水質改善技術など。

環境技術実証事業 ETV 環境省
ヒートアイランド対策技術分野
実証番号 051 - 0000
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H 2X
www.env.go.jp/policy/etv
本ロゴマークは一定の基準に適合していることを認定したものではありません

ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

建築物（事務所、店舗、住宅など）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷の低減等によって、人工排熱を減少させ、ヒートアイランド対策効果が得られる技術分野。ただし、緑化は除く。

対象となる技術の例 窓用日射遮蔽フィルム、窓用日射遮蔽コーティング材、窓用後付複層ガラス、屋根用高反射率瓦、屋根・屋上用保水性建材など。

環境技術実証事業 ETV 環境省
ヒートアイランド対策技術分野
実証番号 052 - 0000
第三者機関が実証した性能を公開しています 実証年度 H 2X
www.env.go.jp/policy/etv

ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）

地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システムは、外気を熱源とする空冷式ヒートポンプを採用したものと比べ、電力消費を抑えて効率的に建築物内の冷暖房を行うことができ、また夏季は冷房排熱を外気中に放出しないことから、ヒートアイランド対策効果が期待される技術分野。

対象となる技術の例 地中熱又は下水熱を熱源とした水冷式ヒートポンプ、地中熱交換部、及びそれらを組み合わせたシステム全体。

環境技術実証事業 ETV 環境省
地球温暖化対策技術分野
照明用エネルギー低減技術
実証番号 110-0000
第三者機関が実証した性能をWeb上で公開しています
http://www.env.go.jp/policy/etv

地球温暖化対策技術分野（照明用エネルギー低減技術）

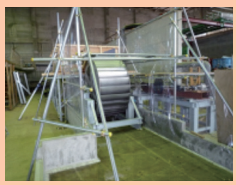
日常業務又は日常生活に求められる光環境の実現に必要なエネルギー消費量低減に資する技術分野。

対象となる技術の例 光源の周辺に設置することで光を効果的に反射させる照明器具、照明器具用の反射板・内装材料、光ダクトや天窓などの昼光導入装置。

環境技術実証事業 ETV 環境省
地球温暖化対策技術分野
中小水力発電技術
実証番号 No. 120-0000
第三者機関が実証した性能をweb上で公開しています
http://www.env.go.jp/policy/etv/

中小水力発電技術分野

水の位置エネルギーを活用し、渓流、河川部、排水路などの流量と落差を利用して小規模、小出力の発電を行う技術等を取り扱う技術分野。



対象となる技術の例 経済性を高めるための水車・発電機・増速機・制御設備・電気設備等の発明工夫、独立運転などでの需給両面の発明工夫など。

詳しくは WEB で!! 環境技術実証事業 検索

「環境技術実証事業」全般に関する問い合わせ先
環境省総合環境政策局総務課　環境研究技術室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館　TEL:03-3581-3351（代表）
etv@env.go.jp

http://www.env.go.jp/policy/etv/

平成28年7月